

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3891300059
法人名	有限会社 スローライフ
事業所名	グループホーム まちなか
所在地	四国中央市川之江町字馬場2083番4
自己評価作成日	H22年5月25日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年6月30日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

職員一人ひとりが、利用者さんの自立支援を意識して接するように心掛けている。あくまでもさりげなく支援していく。例えば、職員一人ひとりがそれぞれの仕事をしながらも、適切な場所に居て、安全に見守りを行ったり、適切な位置にイスやベンチを配置し、行動範囲が広がるように工夫したりしている。今後、さらに個人の既存能力を把握し、個別支援をしていきたいと思っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

事業所では、この一年間、特に、利用者やご家族に対する接遇の改善に力を入れて取り組まれており、施設長は、職員に「笑顔、挨拶、見守り」の徹底を図ってこられた。散歩をしていると近所の方から声をかけてくださることもある。フラダンス等のボランティアの方の訪問や保育園児の訪問を利用者は喜ばれており、音楽に合わせてリズムをとったり、拍手をして楽しんでいる。保育園児は、これからも定期的に来てくれるようになっている。地域の「ボランティア事務局」と連絡を取っておられて、必要時にいろいろなボランティアの協力が得られるようにされている。今後、地域の方との交流をすすめていくためにも夏祭り等、事業所主催の行事を催していくことも考えておられた。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない 	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	<ol style="list-style-type: none"> 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない 	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	<ol style="list-style-type: none"> ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない 		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム まちなか

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

中川 明子 (喜井 茂雅)

評価完了日

平成22年6月18日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 事業所理念に基づき、一人ひとりが、自分らしく生活できるように支援している。地域に密着し、信頼を築けるよう、日々のサービス提供に努力していきたい。	
			(外部評価) 法人事業所全体で「自分がされたり言われて嫌なことはしない、言わない(尊厳の保持)」「誰の世話にもならず、自分で生活していると思えるような環境を整える(自立支援)」と理念を掲げておられる。事業所では、この一年間、特に、利用者やご家族に対する接遇の改善に力を入れて取り組まれており、施設長は、職員に「笑顔、挨拶、見守り」の徹底を図ってこられた。	総務部長は、法人全体の理念に基づき、事業所独自の理念も作っていきたくて考えておられた。又、地元から入居されている利用者が多く「より地域に密着した事業所としての取り組みをすすめていきたい」と話しておられた。この機会を、事業所がこの地域の中でどのようなことを目指していくかということ、具体的に考えてみる機会にされてほしい。
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 自治会に参加し、地域の行事や情報を収集している。ボランティアの方が来て、ダンスを踊って見せてくれたり、保育所の子ども達が訪問してくれ一緒に遊んだりして、地域の方との交流を持っている。外出時、近隣の方と挨拶を交わしたり、声をかけて頂いたりしている。	
			(外部評価) 散歩をしていると近所の方から声をかけてくださることもある。フラダンス等のボランティアの方の訪問や保育園児の訪問を利用者は喜ばれており、音楽に合わせてリズムをとったり、拍手をして楽しんでいる。保育園児は、これからも定期的に来てくれるようになっている。地域の「ボランティア事務局」と連絡を取っておられて、必要時にいろいろなボランティアの協力が得られるようにされている。今後、地域の方との交流をすすめていくためにも夏祭り等、事業所主催の行事を催していくことも考えておられた。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 施設の見学や相談等には、いつでも対応させて頂いている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議は和やかな雰囲気で行うようにしている。遠慮なく話し合い、実現可能なことから取り組んで、サービス向上に努めている。	
			(外部評価) 運営推進会議では、利用者の状況報告や行事の様子等を報告されている。又、地域の代表者の方にごみの出し方や外出によい場所、地域の避難場所等を教えていただいたり、老人会への参加を提案していただいている。今後会議に、消防署の方や民生委員の方等にも参加を呼びかける等、いろいろな立場の方に出席いただきたいと話しておられた。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 管理者は定期的に市役所へ出向き、担当者と情報交換に努めている。月に一回、ふれあい相談員の方が来られ、施設やサービス提供についての意見等を交換し、改善・向上に努めている。	
			(外部評価) 管理者の交代の際には、市の担当者の方に挨拶に出向かれた。又、身寄りのない利用者の今後の生活について、相談しながら取組みをすすめておられる。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員一人一人が、身体拘束の定義について、理解・把握しており、身体拘束をしないケアを実践している。玄関や居室の施錠はしておらず、ベットの柵もない。	
			(外部評価) 職員は、外部研修や勉強会の際に、身体拘束についての知識を学んだり「拘束に当たるかどうか」と施設長等に問いながら身体拘束をしないケアの実践に努めておられる。施設長は「利用者の行動をすぐに止めないで、様子を見たり、ついて行く」ことを職員に伝えておられる。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員会議で、虐待防止の話し合いや勉強会を行っている。職員全員が利用者の安心・安全・尊厳を第一と考え、接するように心掛け、虐待の未然防止に努めている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会などに参加し、知識を習得し、職員会議等で勉強し、職員全体が活用できるようにしている。成年後見制度に関しては、現時点では必要な状況ではない。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時は、利用者本人もしくは、ご家族に十分説明を行い、不明な点や分かりづらいところはないかを確認し納得して頂いてから、契約をするようにしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) ご家族が施設に来られた時には、近況を伝え、その折にご家族の意向や要望をお聞きし、反映・実践していくように努力している。施設の行事等に参加して頂き、ご家族とのコミュニケーションを持つようにしている。 (外部評価) 利用者・ご家族の意見や要望等は「Friend」と書かれたノートに、その都度、書き留めるようにされており、職員全員が回覧して押印するようになっており、ご家族からは「移乗等の介助は、職員が2人で行ってほしい」「夜間もたびたび見守ってほしい」等の要望があり、職員で話し合いケアに採り入れておられる。事業所便り「まちなか通信」を発行し、外出や利用者の普段の様子をご家族に伝えておられ、ご家族からは「通信を見ているので、状況や外出先がよくわかる」と感想をいただいているようだ。	家族会を近々開催できるように、議案を検討されている。又、ご家族が参加できるような行事の開催も考えておられた。ご家族との関係をさらに深めながら、運営等について、ご意見を具体的に引き出せるよう取り組みの工夫を重ねていかれてほしい。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月の職員会議で、提案・意見の交換を行い、反映・実施を行っている。	さらなる事業所のサービスの質向上を目指して、法人代表者や総務部長、職員で話し合うような機会を増やされたり、職員個々のスキルアップをすすめていかれてほしい。
			(外部評価) 毎月の職員会議時等に、職員が気付きや意見を出し合うようにされており、利用者の衣服の収納の工夫等のアイデアも出し合い話されている。又、「ターミナルについての勉強会をしてほしい」等、職員からの要望等も聞き取り、勉強会を行っておられる。さらに、施設長は、これから、もっと看取りや医療に関する勉強会をすすめ、職員の知識等を深めていきたいと考えておられた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員一人一人と個人面談をし、個人の希望や要望を聞き、職場環境・条件の整備に努めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修を受ける機会を積極的に設け、職員が参加できるようにしている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 他施設の見学や交換体験を行い、同業者との交流や勉強の場を提供している。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居前の面接で得た生活状況等を職員間で共有するようにしている。困っていることや不安なことを、本人や家族と話し合い、安心して過ごせるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>意向や要望など、互いに話しやすい関係作りに努めている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人・家族と話し合い、介護の度合いや支援を必要としていることを把握し、他のサービス利用も含め、対応するように努めている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>日常生活の上で、出来ること・出来そうなことを行って貰い、困っていることにはさりげなく手を差し伸べて、暮らしを共にしていることを忘れず、よい関係を築いている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人とご家族との時間が取れるようにイベント等にご家族を招待している。ご家族の意見や要望を聞き、支援内容を共に検討するなどして、共に支えていく関係を築くように努めている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>近所の方や友人がいつでも気軽に来て頂けるような環境作りを心掛け、声かけも行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>地元から入居されている利用者が多く、馴染みの近くの商店街等にも出かけておられる。又、お寺へ散歩に出かけたり、お盆等には、ご家族と墓参りに出かける方もある。ご自宅に「帰ってみたい」と言われる方は、現在ご家族と相談して、実現に向けて準備されていた。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価)	利用者同士が、関わりが持てるように、日常生活の中で声かけ等を行い、関係調整できるように努めている。
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価)	必要に応じて、相談や支援を行うように努めている。
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)	一人ひとりに希望や意向を確認し、必要に応じてご家族からの助言を頂くなどして、本人の思いや意向を把握するようにしている。
			(外部評価)	
			職員は、外出先等を提案して利用者個々の希望をお聞きしているが、希望を引き出すことのむつかしさを感じておられる。「カラオケが大好き」と言われる方と一緒に、系列のデイサービスでカラオケを楽しむこともある。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)	入居前に本人やご家族にお聞きし、これまでの生活の様子などを把握するように努めている。
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価)	本人に声かけをしたり、観察・見守りを行い、現状の把握に努めている。送り等や職員会議で話し合い、職員全員が把握するようにしている。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 本人が、より良く暮らせるように、本人・ご家族と話し合いをし、課題点・問題点などの意見を出し合い、介護計画を作成している。</p> <p>(外部評価) ご家族の要望をお聞きして担当職員と施設長で介護計画を作成されている。「職員に分かりやすくするため」にご本人の課題を1～2項目に絞って、目標を立てるようにされていた。介護計画は6カ月ごとに見直しをされている。</p>	<p>ご本人が主体の介護計画を作成できるよう、職員で勉強をされたり、ご本人の意向やご家族の要望等を十分に採り入れながら作成できるような仕組み作りが期待される。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 介護記録・介護日誌など、個別に記入し、一人ひとりの状態・体調など、職員間で目を通し情報を共有し、ミーティングや申し送りの際に情報交換し、話し合い、見直しに活かしている。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) その時々で、ご家族と話し合いの場を持ち、要望に応えられるように、職員間で良い案を出し合いながら、支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 必要な地域資源の活用のなかから、本人のペースで、安全で豊かな暮らしが楽しんでいただける様に努力している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	(自己評価) ご本人・ご家族の希望を大切に、入居前からのかかり つけ医を受診できるように支援している。定期検診だ けでなく、緊急時や本人の希望による受診など、いろ いろな状況に応じて、必ず、職員が付き添い、情報提 供を行い、適切な医療を受けていただけるように支援 している。	
			(外部評価) 利用者がそれぞれのかかりつけ医に診てもらうように 支援されており、職員は、受診の際、介護記録、健康 管理記録、排泄チェック表をコピーして同行されてい る。	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	(自己評価) 気付いたことや状況の変化など詳しく伝えたり、どう 対処したらいいかなど相談し、適切な受診や看護を受 けられるように支援している。	
			(外部評価)	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	(自己評価) 入院が決まった際には、利用者の日々の記録や病歴・ 投薬の情報などを持参・提示し、口頭でも申し送りを し、病院関係者と情報交換をしている。状態が改善 し、通院で対処可能な状況になれば、早期に退院し、 通院で対応できるように、病院関係者と協議するよう にしている。	
			(外部評価)	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	(自己評価) 早期にご本人・ご家族等と、終末期に向けた方針や希 望を話し合いの場を持つようにし、職員はミーティ ングを行い、チームで支援に取り組めるように考えてい る。	
			(外部評価) 「できたらここで最期まで看取ってほしい」等のご家 族の希望等にも沿って、事業所で看取りを支援する方 針で取り組みをすすめておられる。職員の勉強会で は、利用者の持病についての知識を深めたり、終末期 の支援等について話し合われた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 職員一人一人が、緊急時に応急処置や対応ができるように、実践力を身につけるように努めている。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 災害時の訓練を実施し、避難の方法や対応を身につけるようにしている。また、地域の方に協力して頂けるように、運営推進会議に参加して頂き、協力体制を築いている。 (外部評価) 消防訓練は年2回行っておられ、4月の訓練では、日中の火災を想定して訓練をされた。消防署の方から「真剣に行っていた」と褒めていただいたり、シートを使って利用者を避難させる訓練の際には、安全に引張ることができるようアドバイスをいただいた。隣家の方も訓練に参加してくださったようだ。	今後、10月の訓練は、夜間を想定して実施する予定となっている。又、スプリンクラーや通報装置の設置もすすめていく予定である。事業所は、職員の入れ替わりもあり、全職員が訓練できるような取り組みや地域等の協力者も参加した訓練を重ねられ、利用者、職員のさらなる安全や安心に向けて取り組まれてほしい。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) その場にあった、適切な言葉かけや対応を心掛けている。一人ひとりの人格やプライバシーを尊重し、人間性を大切にして、関わるようにしている。 (外部評価) 職員は「利用者の希望は実現できるよう考える」ようにされている。利用者の個人的なことについては、ご本人の耳元でそっと話すようにされている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常生活で行う行動ごとに、本人に問いかけ、本人の思いを受け入れ、支援している。意思表示ができるよう、職員それぞれが工夫して接するように心掛けている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望を尊重し、本人の生活のリズムやペースにあった暮らしを送れるように、支援している。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 更衣の際、一人ひとりの好みに合わせて着衣できるように、声かけ等行っている。上下のバランスや季節に応じた色合いを一緒に考えて選ぶように気遣い、支援している。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 食の楽しみを大切にし、毎食、見た目などにも変化をつけ、栄養バランスのとれた献立を心掛けている。職員と利用者が一緒に、食事を作り、食し、片づけをしている。 (外部評価) 事業所では、利用者の意見を聞き取りながら職員がメニューを決めて、栄養のバランスや彩りにも気を付け食事作りをされている。日々の食事の内容を写真に撮り、栄養管理士の方にアドバイスをもらうようにされている。利用者は、野菜を切ったり、盛り付けされたり、お皿を拭いたり、できることをされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 一人ひとり生活健康記録表を作成、記録し、一日の食事量や水分摂取量を日々把握している。一人ひとりに合わせた量を考え、副菜は少量ずつを多種類にするなどして、栄養のバランスに配慮している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 食後や起床時・就寝前には、必ず、一人ひとりに応じた口腔ケアを実施し、清潔を保持している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	一人ひとりの排泄記録表を作成、記録し、排泄のパターンを把握し、トイレの声かけ、誘導を行っている。心をゆったりさせて、急がせないように、のんびりと、自然に出てくるように支援している。	
			(外部評価)	施設長は「利用者個々の排泄について詳細に記録すること」の徹底を図っておられ、利用者個々の排泄のパターンを知り支援することで、現在、パットや紙おむつの使用を減らすことができたり、衣服の汚染や臭いが減ってきたことを実感されていた。病気等、パット等の介護用品が多く必要になったような時には、ご家族に説明をされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	薬に頼らず、体操や散歩をしたり、食生活においても、お通じが良くなるような献立にしたりしている。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	一人ひとりに声かけをし、希望やタイミングに合わせて入浴ができるように支援している。入浴剤を入れたり、マッサージを行ったりして、入浴を楽しめるように工夫している。	
			(外部評価)	入浴剤を使用したり、時にはバラや職員が摘んできたよもぎを浴槽に入れて、入浴を楽しめるようにされている。車椅子を利用されている方も浴槽で温まれるように、2名の職員で介助して支援されている。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	一人ひとりの生活習慣や、体調などを把握し、安心してゆったりと休めるように支援している。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 一人ひとりが使用している薬について、目的・副作用などを説明して貰い、用法・用量についてもしっかりと確認して、服用して貰うようにしている。症状の変化がないか、様子を観察し、変化があった場合には、報告し、指示を仰ぐようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) したいことや、できることを、可能な限りして頂き、生活に張り合いが持てるように支援している。また、全員で外出したり、ドライブに出掛けるなどして、気分転換ができるようにしている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 要望や希望などを受け入れ、可能な限り、戸外に出掛けられるよう支援している。普段行けないような場所にも外出の機会を持てるように、地域等、いろいろ問い合わせをしているが、なかなか良い結果は得られない。これからも、働きかけていこうと思っている。 (外部評価) バラ園や市内の公園に桜を見に行かれたり、海の見える公園に出かけておられる。外出時の写真は、居間に飾ったり、ご家族にも差し上げている。近くのスーパーに食材の買い物に出かけたり「帰りたい」と言われる利用者と一緒にドライブされることもある。今後、利用者みな一緒に出かけられるよう、大型車のレンタル等を探しておられるようだ。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) ご本人やご家族の意向に応じ、お金を自分で管理したり、使ったりできるように支援している。買い物等に職員と出掛け、支払いをしてもらうなど、ご本人ができることを把握し、して頂いている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) ご本人のからの申し出に応じ、電話をしたり、ご家族に伝言したり、来ていただいたりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>居心地の良い落ち着いた雰囲気作りに配慮し、観葉植物を置いたり、季節の花を飾ったりしている。毎朝、清掃し、清潔を心掛けている。テレビやCDなどの音量は調節し、採光・照明にも配慮している。季節に応じた快適な室温や換気にも気を遣い、居心地のよい空間作りに取り組んでいる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>総務部長は、利用者やご家族が来られた時にゆっくり過ごせるよう、居間にソファを設置された。あじさいを生けておられたり、お香を焚いておられた。玄関のプランターには季節の花やトマト、なすが植えてあり、利用者が水やりをされている。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>各自、思い思いの場所で、談笑したり、テレビを見たりと、好きなことができるような居場所作りをしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>入居する際に、使い慣れた馴染みのあるものを持ってきていただき、本人が居心地よく過ごせるようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室には家具等が持ち込まれてあり、ご家族の写真や賞状、仏壇を持ち込んでおられる方も見られた。入居前にカラオケ大会でもらった賞の記録を、ご本人の希望で施設長がパソコンで見やすく作成されて、壁に貼っておられた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>一人ひとりのできることや、分かることを把握し、分かりやすい表示や表記をして、安全で自立した生活が送れるように工夫している。</p>	